

論を終わります。

### あとがき

「集中豪雨」という幅の広いテーマに対して、それぞれの立場から興味深い講演をしていただき、「集中豪雨」の各側面の理解が深まったかと思えます。私自身、中小規模現象が専門ではありませんが、いろいろ勉強になりました。小倉氏には、長年の研究実績を踏まえて、最新

の知見までを含む理解の現状をひとつかみにして話していただきました。萬納寺氏の講演では、数値予報課の挑戦者精神を感じ、また、パラメタリゼーションに関する総合討論でも、関係者の発言にその頼もしさを感じました。吉澤氏には、人によっては馴染みの薄い行政の立場からのお話を、具体例をもとに分かりやすく講演していただきました。三氏のまとまった講演とその準備に対して感謝したいと思います。(座長)

## 関西支部第13回夏季大学受講生募集

### —大気の流れをみる—

期 日：1991年（平成3年）7月25日（木）～

7月26日（金）

場 所：大阪市天王寺区石ヶ辻町19番12号

なにわ会館（4階金剛「中」）06-772-1441

（近鉄上本町駅 徒歩3分、地下鉄谷町九丁目駅 徒歩8分）

受講料：3,000円（テキスト代含む）

申込方法：住所・氏名・年齢・勤務先・電話番号を明記し現金書留または郵便振替で受講料を添えて申し込んで下さい。なお、開講当日受付で現金書留・郵便振替の領収書を提示していただきますので、紛失しないようお願いいたします。  
（郵便振替口座 大阪 8-18318 日本気象学

会関西支部）

定員 100名（定員に達し次第締切ります）

申込先：〒540 大阪市中央区大手前4丁目1番67号

大阪合同庁舎第2号館

大阪管区気象台内 日本気象学会関西支部

(Tel. 06-941-0341 内線 6145)

申込締切：1991年（平成3年）7月18日（木）

主催：日本気象学会関西支部

後援：大阪府教育委員会、京都府教育委員会、兵庫県教育委員会、奈良県教育委員会、滋賀県教育委員会、和歌山県教育委員会、大阪市教育委員会、大阪管区気象台

	10時00分～12時00分	13時00分～14時50分	15時00分～16時50分
7月25日 (木)	「地球をとりまく大気の流れ」 岩嶋樹也 (京大理学部教授)	「日本付近の大気の流れ」 伊東久徳 (和歌山大学教育学部 助教授)	「天気図を読む」 熊井輝義 (大阪管区気象台 主任予報官)
7月26日 (金)	「局地的な大気の流れ」 田中正昭 (京大防災研究所助教授)	13時30分～15時00分 気象台見学（異常気象等で中止の場合もあります）	